
恩師への手紙

たけ10005

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恩師への手紙

【Zマーク】

Z3838F

【作者名】

たけ10005

【あらすじ】

私の絵の師匠、工先生のために書いた実話です。拙作“翼”の表紙絵、裏表紙絵を描いたきっかけの絵描き田指してた時の話。

僕が恩師と出会ったのは、専門学校だった。

今回は経験を語つてから哲学をしようと思つ。お礼も言いたいしね。

人によつて、学校だつたり職場だつたりするだらうけど、僕は新聞
選手生やつて入つたゲーム専門学校のグラフィック科だ。

先生…つまり師匠が”好きなことをやつて生活する。それを表現して
る”と感じたのは、なぜか初めてだつた。教師は皆好きでやつて
るのに。

それだけパワーあふれる先生だつた。絵描き専門じやないけど、プロ
レスやつて腕壊したらどうするんだうと、今初めてこの本心を
口にする。僕が人をそこまで心配するのも珍しいけどね。

僕は反抗はしないタイプだけど、ゲーム関連では譲れないものがあ
る。自分で驚きだけど。

プログラムや音楽のフリーソフトを使って、シナリオとCGを自作
したゲームがある。

実は僕の小説”夕焼けに散る花”だ。戦闘に関する行動を二択で選
ぶもので、ランダム性のある微妙な選択肢を除いても、戦闘センス
を問われる難易度の高いゲームだ。

しかし、CGはともかく、絶望的に高嶺の花の”原画”といつ”CG
の下絵”とか、シナリオは、やつてたら就職に響くと注意されな
がら、制作を続けた。

僕は後悔してないけど、気にかけてくれた先生には申し訳ないと思
つてる。

そもそも先生が僕を気にかけてくれたのは、先生が僕達CG科の授

業に顔を出した時、3Dの色つけの技術を2D…つまりイラストに応用して、かつ良い仕上がりだったからだそうで、先生の授業は専攻してなかつたけど、友達の紹介で正式に知り合つた。

僕にとって人生最高の、宝石のような一瞬だ。この話も、宝石箱みたいな気分

僕が絵を描けなつた時…ゲーム業界もアニメ業界も無理になつた今もメールを返してくれる。。。そんなに嬉しいことは無い…。

先生はTシャツのデザインもして、多才だなあと思つてゐる。かといって、お調子者なわけでなし。

ただカツコイい生き様だなあ…と思つ。

僕の小説”心を見る”の主人公のように僕は泳がなかつたのだろう。人生を歩く気がなかつた。つまりはそういうことだ。なんでだろう? こんなにも無気力なのは…多分、気取つてゐるのだろう。甘えてゐるのだろう。

人は僕を屁理屈だと言つけど、理屈で理由付けして地面に根を生やして動かない。その手の人間なだけ。

失敗が怖い。人生の失敗はハイリスクだ。だから動かない。ある種の戦法だが、そりや実績ある人の言うセリフかな?

だから先生は凄い。

せめて僕に期待通りの立場があればと思いつつ、筆を置いたのは絵に飽きたのではなく、他の生きるための道を探してゐる結果。

将来の保証もなく、しかし暇はあるので、小説をかじつたのだけど、意外にハマつてゐる(笑)

いつか何かのプロになつたら、先生の元に行きたいと思つ。

先生、これからもよろしくお願ひします

(後書き)

先生へのメッセージと若い人に一期一会と歩み方を語りたく公表しました。

ここまで読んでください、ありがとうございます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3838f/>

恩師への手紙

2010年10月22日01時52分発行